

# 第 1 回 榛 名 地 域 審 議 会

## 総合計画前期実施計画事業に係る質疑

事業名	No.	質 疑	回 答
榛名地域福祉会館・図書館 (仮称)建設事業	1	榛名地域福祉会館の建設に伴い、西別館の解体工事、福祉会館建設工事は、いつ頃になるのか。	今後の福祉会館建設に伴うスケジュールについては、西別館解体工事を平成22年8～9月ごろを予定し、工期は3～4ヶ月ぐらいになる。現在、建物等の設計を行っている。
観光資源の活性化事業	1	この事業の受入れ主体として、榛名観光協会の榛名神社支部と榛名湖支部があり、事業を有効に建設的に実施するために両支部を一つにしていきたいと検討会議を行っている。また、農業団体の方々とも幅広く連携を図っていくために検討を実施している。	(報告)
観光産業支援事業	1	「梅の味どころガイド事業」のパンフレットを3月の梅マラソンの参加選手に配布した。この事業は、現在2月～4月で実施しているようだが、実施期間を延長できないか。	この事業は、2月～4月にかけて榛名地域の約40店舗が参加して、この時期にしか食べることのできない梅料理メニュー等が大変好評を得ている。実施期間の延長につきましては、参加店舗の方々と協議しながら検討していきたい。
	2	「梅の味どころガイド事業」を平成20年度実施した結果、どのようなお客さんの声、反応だったのか。	お客さんよりのアンケート結果では、概ね好評のようであったが、詳しい資料が手元にないため後日報告させてもらいたい。
榛名地域観光施設整備事業	1	「ゆうすげ」は合併前榛名町の経営であったが、会社に経営を任せたとのこと。報告資料によると、市で「ゆうすげ」の修繕工事を行うとのことだが、どのような形態で運営されているのか。	市、榛名商工会、はぐくみ農協、観光協会榛名湖支部、榛名神社支部の出資金3120万円で「株式会社榛名湖温泉ゆうすげ」の運営が開始された。市と「株式会社榛名湖温泉ゆうすげ」の指定管理の協定内容によると、100万円を超える修繕を市で負担し、100万円以下のものを「株式会社榛名湖温泉ゆうすげ」の方で行うとなっている。
	2	「株式会社榛名湖温泉ゆうすげ」がどんなに利益を上げて、100万円を超える修繕は市が負担するのか。	指定管理の協定書の中で、利益がでた時は、市と会社で協議して当該年度起債償還額2分の1以内で市の一般会計に繰り入れるとなっている。また、赤字の時は、両者で協議することとなっている。
都市型農業施設整備促進事業	1	里見地域施設整備準備委員会を約15名の賛同者で立ち上げて、法人化に向けて勉強会を行っていて、司法書士に相談をしながら年内の設立を目指して検討を行っている。	(報告)

都市型農業施設整備促進事業	2	里見フルーツ団地の周辺整備として、直売所整備等の計画があるが、そこに向う手前の国道406号沿いの下里見交差点が鋭角で非常に曲りづらいため、緊急に改良整備してもらいたい。	先ほど委員より報告があったが、主体となる団体が法人化に向けて準備を行っている段階であり、それが出来たい地権者に協力をいただき、市の全面的なバックアップのもと、地権者を含めて県に要望書を提出していきたい。
			早急に法人化に向けて準備を行い、法人設立が完了後、地権者への協力のお願いや地元への説明を行ってほしい。
	3	「里見フルーツ団地」の周辺観光ということで、「里見地域施設整備準備委員会」を設立し、法人化に向けて準備している。また、市の理解、協力を得ながら、地域への説明や景観対策、ボランティアの募集等を行ってほしい。「里見フルーツ団地」の周辺整備として、国道406号の下里見交差点の鋭角な曲りの改良を進めてもらいながら榛名地域の活性化を行いたい。	「里見フルーツ団地」周辺観光整備という中で、国道406号の下里見交差点の鋭角な曲りの改良について、地元でも地権者の協力、地元住民の理解等を取りまとめてもらい、市当局も協力しつつ、県へ陳情を行ってほしい。
下里見公民館（仮称）建設事業	1	公民館整備については、2年前に区長協議会と文化協会です室田、里見、久留馬地区への整備の要望をした。下里見公民館（仮称）整備で進行中とのことだが、旧高崎市に比べ公民館整備は遅れているので、引き続き行ってほしい。また、久留馬、室田地区の公民館整備の今後の計画はどうなっているのか。	旧高崎市は、1校区1公民館で整備してきた、合併した地域についても1校区1公民館を地域の実状に鑑みながら進めていきたいと確認させてもらった。原則、地域で公民館の少ないところから優先的に整備を行いたい。昭和56年以前の建物について、すべての公共施設の耐震診断を実施しているが、2公民館で耐震不足が判明して、そちらを先に行いたい。その後、地域の状況が整ったところから検討していきたい。
	2	公民館建設の内容が全く見えないが、図書室や調理室等どのようにして進めていくのか。	建物の設計は、平成22年度実施を予定し、市の公民館については、ほとんど同じパターンで整備を行ってほしいと考えている。公民館の内容については、地域人口の多い少ないにかかわらず大会議室、会議室、和室、図書室、調理室等を基本に延べ床面積500㎡前後で、ユニバーサルデザイン、バリアフリー等に配慮していきたい。
新エネルギー利活用研究事業	1	梅部の農家でウメタケの試験栽培を行ったと聞く、ウメタケの具体的な薬理効果や進捗状況はどうか。	剪定枝活用の問題点、課題整理等を調査研究のため委託し、その調査研究をもとに、今後の推進方法等をバイオマス専門委員会にて検討を行なってほしい。
	2	農業新聞の記事で、山形県のさくらんぼ農家で剪定枝を集めて発電を行ったとあった。ウメタケが上手くいかない場合でも、エネルギー利活用の方法を見出してもらいたい。	(要望)

榛名南麓フルーツライン整備事業（榛名地区）	1	以前の審議会で、フルーツラインの進捗状況について、平成21年度にて測量が終わり道路予定地もはっきりするということだった。その後の状況はどうか。	地元の皆さんや地権者に説明をした中で、現在協力をしてもらえない地権者がいる。県と一緒に一日も早く協力してもらえるよう努力している状況である。
	2	フルーツラインの当初ルートで、フルーツラインができるときに拡幅工事をするようになっていた市道で、軽自動車とのすれ違い時にトラクターの転倒事故が発生した。フルーツラインの路線変更により、道路が拡幅されなかったところなので善処してもらいたい。	現地を確認し、検討させてもらいたい。
	3	広域農道「フルーツライン」を活用して、市は、今後榛名地域特産のフルーツが活かせるような施設の整備を考えているのか。	「フルーツライン」の整備計画にあたり、周辺の近代化施設の整備は国県とのやり取りした中でメニューに条件としてあった。道路が完成すれば、規模は大分縮小されたが、農協等の関係機関と協議しながら施設整備を検討していきたい。
	4	将来に向けて「フルーツライン」という名称のとおり、フルーツに関するものが活きるような方法で市も検討してもらいたい。	（要望）
上水道管網整備事業	1	上水道管で石綿セメント管とは、どういうものか。それを新しいものに換えているということか。	石綿セメント管とは、以前に建物の天井、壁面材料として多く使用された石綿をセメントで固めて管にしたもので、健康被害（石綿の粉塵等が肺に障害をもたらすと言われている。）を引き起こすといわれ、その石綿セメント管をそのままにして、その横に新規の鉄管、ビニール管を布設するもの。
汚水管渠整備事業	1	下水道の整備に関して榛名地域が、旧高崎などに比べ立ち遅れている現状となっている。環境、衛生面等を考慮して普及率を上げてもらいたい。	榛名地域の下水道事業の全体計画は、470ヘクタールで、その他のところは合併浄化槽の補助事業地域となっている。現在、認可を受けている面積が、198ヘクタールで工事完了しているのが約150ヘクタールとなっている。
	2	国道406号の上里見エコー入口交差点の工事が、今年3月の梅マラソンの時に工事中のため、そこに警備員を配置した経緯がある。今年度の工事予定では、梅マラソン前に終了するのか。	下水道工事について、国道406号の裏の市道のところは入札が終了し、発注済となっている。国道406号の上里見交差点の部分は、入札が終了し、地中推進工法というトンネル方式の工事形態になるのでマラソンに影響を与えない。エコー周辺の未舗装部分は、舗装工事を早急に発注する予定となっている。

## 報告事項に係る質疑

報告案件	No.	質 疑	回 答
宮本町活性化事業	1	街並み整備事業として統一看板の設置を初めたとのこと。駐車場整備をどのように考えているか。	四つ角周辺では、店舗が密集していて駐車場の問題が検討されてきていたが、具体的な動きはない状況となっている。 今後まちづくり宮本町の会議にて、研究題材として研究していきたいと考えている。
	2	変則的な四つ角を、「市の重点項目として早めに改修してほしい」と何人かの市民から発言してほしいと言われた。	交差点改修ということで、市として県要望ということで行なっているが、もっと積極的な部分で行なえないか検討していきたい。

## その他の質疑

内容区分	No.	質 疑	回 答
基金の運用について	1	合併前に榛名地域の振興策の一つとして、ハードで1億円、ソフトで2500万円の基金を創設したが、その基金の使用はどうなっているのか。また、基金の有効活用ということで、この第5次総合計画の中の榛名地域の事業で導入できないのか考えてもらいたい。	榛名町から引き継いだ基金は、特定事業整備基金として教育関係で1億円、観光関係で1億円と利子が付いてあるとのこと。教育関係の1億円は、榛名地域福祉会館建設事業の図書館部分の建設費用に取り崩しが決まっている。観光関係の1億円の基金は、榛名地域観光施設整備事業のゆうすげ元湯温泉井戸ポンプの交換に使うことになっている。もう一つの基金ですが、榛名と高崎地域とで2500万円ずつ合計5000万円手付かずで残っている。
住民活動への支援について	1	新聞の記事で「住民への自立支援が減退しているのが問題だ。合併した地域に共通している。」とあった。この審議会、勉強会等で委員総意にてお願いしたことや地域で活動している方々からの志ある要望に対して、強力に実現に向けて活動してもらえような体制をお願いしたい。	(要望)
今後の審議内容について	1	7月の勉強会で、「国道406号から安榛トンネルへ向う接続橋梁の建設」「庁舎4階利活用」等について審議して要望等をお願いした。また、今後、審議会で検討してもらいたい。	今後については、本庁地域振興部と協議を行い検討していきたい。

公民館の建設について	1	久留馬地域は公共施設が高浜人權プラザぐらいしかなく、市民の活動拠点となる公民館を早期に建設してもらいたい。	(要望)
西毛広域幹線道路について	1	榛名地域の西毛広域幹線道路の計画はどうなっているのか。広幹道ができれば観光にも非常にプラスになるのではないかと。また、積極的な働きかけを行ったところが先に着手していただけるのか。	<p>市の庁議で、前政権のときのことだが、都市整備部長より「前橋市、富岡市、群馬地域以外のところに調査設計費付いた」と報告があった。今回の政権交代により、どのような状況か、次回の審議会に報告させてもらいたい。着工場所の順番が働きかけ等により影響を受けないとする。</p> <p>西毛広域幹線道路の調査設計費については、7月ごろ上野国分寺付近のことと聞いた。</p>
いきいきサロンについて	1	はぐくみ農協は、市の委託事業として、榛名地域と群馬地域でひきこもりや寝たきり予防を目的に「ミニディサービス」を実施している。しかし、市は平成22年度より「ミニディサービス」は行なわないで、地域の区長等を中心に「いきいきサロン」を行ないたいとのことだった。群馬地域は新年度も引き続き行なうとのことだが、榛名地域について調整等でまだ検討する余地があるのか伺いたい。	<p>市の委託事業として、はぐくみ農協で「ミニディサービス」を榛名地域内にて16地区で行なってきた。先日の榛名地域区長協議会において、「ミニディサービス」は今年度で終了する旨を説明し、その後、この事業を現在実施している地元区長に詳しく説明し、「いきいきサロン」への活用を案内した。また、今後は利用者への説明を行っていききたい。</p> <p>本庁の長寿社会課を中心に支所担当課で協議して、榛名地域と群馬地域ともに統一した対応になるかと考えている。</p>
榛名湖へ向かう県道整備について	1	東久留米市と地域間交流ということで、いろいろなかたちで交流を行っているが、東久留米市の方から「榛名神社から榛名湖へ向う県道が狭くて、カーブが非常にきついで道路改良や榛名神社に大型バスを止められる駐車スペース」がほしいといわれる。今後、道路の改良や駐車場確保の計画はあるのか。	<p>榛名神社から榛名湖へ向う県道が、急勾配で狭いということで、県へ道路改良の要望を行っている。</p> <p>観光交流ゾーンということで、榛名湖・榛名神社とフルーツライン等を含めた一体的整備といった中で、榛名神社から榛名湖へ向う県道の道路改良の県への要望、榛名神社の駐車場整備の推進を図っていききたい。また、榛名神社の駐車場整備については、社家町の活性化を含めて、地元の方々と協議しながら推進を図っていききたい。</p>

橋梁の建設について	1	<p>榛名地域は観光交流ゾーンということで、「国道406号から安榛トンネルへ向う接続橋梁の建設」により、観光客と生産者の交流ができ、一環した流れが形成され榛名地域の活性化に役立つと思うが、市ではどのように考えているか。</p>	<p>過日の懇談会にて、審議会委員全員の強い要望として「国道406号から安榛トンネルへ向う接続橋梁の建設」の促進があった。この接続橋梁の建設促進とフルーツラインの推進は、榛名地域の観光振興から委員総意に基づき早期整備が必要という意見であった。接続橋梁の建設促進については、新規事業として平成20年から継続して県に要望している。市では、早期着工になるように今後いろいろな方策を検討しながら県に強く働きかけていきたい。</p>
	2	<p>「国道406号から安榛トンネルへ向う接続橋梁の建設」は、この地域の観光促進の屋台骨なので強力に推進をお願いしたい。</p>	